持続可能な財政運営へ

西脇洋貴平群町長に聞く

メガソーラー建設を巡る問題と、平群町ウォータパーク廃止を争点に新人候補と一騎打ちになった町長選で西脇洋貴町長は、住民の安全を守り暮らしやすいまちづくりに関する政策を訴え、再選を果たした。町の財政状況悪化に対して県から「重症警報」が出される中で西脇町長は、本当に必要なものを見極め決断を下してきた。経費削減と町民の暮らしを両立させながら「笑顔あふれるまち」を目指す1期目から町長に話を聞いた。

―今回の選挙戦を振り返って。

今回大きな争点になったものは「メガソーラー建設問題」や「ウォーターパーク廃止」でした。それに加え財政が厳しい中での財政健全化、そういった路線を私は訴えていきました。前回の選挙では、亡くなった前町長の岩崎万勉さんの後継という形で出馬させていただき初当選しました。今回は4年の実績を、ある程度認めてもらえたのかなと思っています。

―メガソーラーについて、今後のお考えは。

県の許認可ということもあり、事業者から出された申請が法律に抵触するものでなければ、町として賛成でも反対の立場にもありません。あくまでも「法にのっとって粛々と進める」としか言えないものです。ただ、住民の生命や財産を守るためには防災対策、これをしっかりしてほしいという形で、県に対しても事業者に対しても言ってきました。町の事業であればまた違いましたが、「ただ止めたいから止める」では訴訟に発展するといったリスクがあります。県から事業者へ指導をしてもらい、町としては法を遵守した形で進めていきたいと考えています。

―1期目は、主に駅前開発が中心となっていましたね。

岩崎さんの後継指名をもらい、一番大きかったものは駅前の整備です。あとは総合文化センターの件もそうですね。令和3（2021）年の3月末に完成し、岩崎さんから受け継いだ大きな事業を成し遂げることができました。

―庁舎移転のための土地を確保されていたかと思いますが、その後の進捗は。

2500平方㍍の土地を確保していますが、やはり町の財政状況を見るとその先へ踏み切れていませんでした。しかし、災害が起こった時の拠点になるのはやはり役場です。議会でも指摘があり、庁舎建設に向けて進めていこうという話になっています。まだ具体化していませんが、来年度ぐらいからプロジェクトチームを立ち上げて、どのような庁舎がいいのかを含めた検討をしていこうと考えています。

―資金のめどはついているのですか。

そうですね。やはり大きな問題は財政面です。町の基金も1800万ほどしかないので、そこをさらに積み上げ、さらには資金手当てをしてもらいと。平群町はいわゆる借金にあたる「将来負担比率」が高いので、できるだけ色々なメニューを組み合わせていきたいと思っています。

―駅前整備や、総合文化センターの完成で町に変化は。

大東建託さんが毎年発表されている「町の幸福度ランキング」で平群町は、町で2位、駅周辺で6位に選ばれました。駅前がきれいになり、事業効果もあらわれてきたのかなと思っています。また、若者が文化センターなどで「平群マルシェ」というイベントを定期的に開催してくれています。そういった住民の皆さんの力を借りて、住民活力につながるようなイベント、若者の交流といったことを行っています。

令和４年10月に行われた「平群マルシェ」の様子＝平群町吉新の総合文化センターで

自治体間で公共施設共有化重要に

―町の人口増減は。

月によっては転出よりも、転入の方が上回っている地域があります。ただ、平群は高齢化率が高く、自然減で人口が減っている状況にあります。また町内に大きな工場といったものがないので、やはり県外に働きに出られる人が多くなっています。そのためか、大阪に比べたら住宅の価格が安く、ミニ開発すればすぐ売れるという話を聞いています。

―2期目に目指すところは。

大きなところはやはり財政の健全化です。安定的に、持続可能な財政運営をしていく必要があります。今回の選挙で争点になったウォーターパークの廃止についても、ないよりはあるほうがいいというのはその通りです。

しかし今の財政状況で、あれだけの施設を運営していくための補修費やランニングコストを考えると、将来の子どもたちに負担を残したくありません。

―自治体間で公共施設の共同利用という動きもありますね。

平群町でも隣の三郷町さんと相互連携に関する協定を締結しています。三郷町ウォーターパークを利用させていただき、昨年の令和4（2022）7月中旬から8月下旬までに平群町民1382人が利用しました。どこの自治体でも財政が厳しくなっていく中でやはり単独でやっていくというより、公共施設の共有といったことが必要になってくると思います。

―他はどのような町政をお考えですか。

平群の基幹産業は農業です。同4年3月に上庄地区と梨本地区を特定農業振興ゾーンとして、県と協定を結ばせてもらいました。高収益作物への転換などといった形で農業に力を入れていこうと考えています。

また、町の観光スポットとしては信貴山が一番かと思います。昨年は寅年だったということで、信貴山で色々なイベントを開催して多くの人に来てもらいました。その中で、昨年の12月に和菓子舗「たねや」さんとコラボした商品として県のブランドイチゴで町の特産品の「古都華」を使ったロールケーキや大福を作ってもらいました。

平群町では「古都華の聖地」という形で売り出させてもらっています。「古都華」をはじめとする商品を販売する道の駅の大和路へぐりには町内外から多くの人が訪れています。この道の駅を通して、さらに交流人口を増やしていきたいです。

―ありがとうございました。

奈良県信用金庫協会

奈良信用金庫
理事長　田村　好美
本店　大和郡山市南郡山町529の6
TEL　(0743)54-3111(代)

大和信用金庫
理事長　中村　正徳
本店　桜井市桜井281の11
TEL　(0744)42-9001(代)

奈良中央信用金庫
理事長　高田　知彦
本店　磯城郡田原本町132の10
TEL　(0744)33-3311(代)